

“Dance with Heart”

We are burning with enthusiasm

in creating national art for the new era.

The Kikunokai Dance Troupe

Representative : Satoshi Hata

日本のおどり

発行：舞踊集団 菊の会

〒161-0031

東京都新宿区西落合 2-21-23

03-5983-6001（代表）

菊の会京都八瀬研修所

〒601-1254

京都市左京区八瀬野瀬町 10

075-712-8701（代表）

<http://www.kikunokai.co.jp>

Dancing from the heart

謹賀新年

いつも格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。皆様のお蔭をもちまして菊の会は創立四十五周年を迎える事が出来ました。これから「日本のおどり」を通じて、その楽しさ面白さを、更には「日本の心」を沢山の方へお届け出来ますよう精進致して参ります。どうぞ今後とも末永くご支援賜りますようお願い申し上げます。

舞踊集団 菊の会
代表 畑 聡



『流れ』

菊の会45周年に寄せて



長嶺 安政

駐大韓民国日本国特命全権大使

本年菊の会が創立四十五周年を迎えられたことに對し、心からお祝い申し上げます。伝統文化を継承・発展させ、国際的な文化交流にも貢献されてきた皆様の長年のご活動に、敬意を表します。

昨年十月にソウルで開催された「日韓交流おまつり2016 in Seoul」の際にも、菊の会の皆様には素晴らしい舞台を披露していただきました。日韓国交正常化四十周年を機に2005年にスタートした「日韓交流おまつり」は、今や日韓両国最大の文化交流行事として定着しており、昨年も若い世代を中心に約六万人の方々にお越しいただきました。「躍れ 日本心」をテーマとする菊の会の皆様による感動的な舞台は、そうした次世代の日韓交流の主役となる韓国の若者たちにとって、日本の伝統文化の魅力を感じ、貴重な機会となりました。また、東北地方の民俗舞踊を多数御紹介いただくことを通じ、東日本大震災からの復興を着々と進める日本国民の思いや共感を表現して頂きました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

一昨年の日韓国交正常化五十周年を経て、日韓両国は新たな五十年に向って動き出しました。新たな五十年が日韓両国にとって実り豊かなものとなるよう、私としても日韓両国国民の間の相互理解や相互信頼を一層強化していきたいと考えております。そのためには、人と人との交流、文化交流が何よりも大切です。

菊の会は、1999年に初めて韓国公演を実施されて以来、これまでに幾度も韓国での公演を成功させてこられました。今後とも、国を越える文化の力や文化交流の喜びを多くの国々において伝えていきたいと思ひます。

日本はもちろんのこと、世界各地での更なる御活躍を期待しつつ、創立四十五周年を迎えられました菊の会の益々の御発展を改めて祈念申し上げます。

特別寄稿

菊の会 沖永良部島公演 「日本のおどり」



鹿児島県知名町
町長 平安 正盛

菊の会「舞踊公演」が本町において開催されました。これに対し、知名町長としてというよりもむしろ、菊の会の熱烈なファンのひとつとして、この場を借りて皆様に御挨拶申し上げます。私がはじめて菊の会の舞台を鑑賞したのは平成二十三年十二月十二日の沖永良部公演「日本のおどり」南国に舞う」になりましたが、今でもそのときの感動は忘れません。そのときのお礼のあいさつの中で再度の機会をお願ひしましたが、そのことが実現し、これで五年ぶり二度目の機会となりました。



「北海大漁節」

人を魅了し、喜びと満足感に満ち溢れさせてくれます。本町は、その昔「那覇世（ナハユ）」といわれる琉球王朝に統治された時期があり、その為、多くの文化的思考が琉球より取り入れられ、琉球色の濃い芸能や文化が数多く残っており、琉球舞踊に接する機会が多い環境にあります。が、なかなか日本舞踊に接する機会には恵まれておりません。

また、本町は昨年、町制施行七十周年という節目の年を迎え、気持ちを新たに町民の心を一つにして町づくりに取り組んでいくという決意をしております。まさにこの時期に、菊の会の独創的な素晴らしい舞台を鑑賞する機会に再び恵まれたことは、七十周年を機に大きく未来へ前進する町民の心の相となるものであり、心から感謝申し上げます。この舞踊公演が、町民にとつて貴重な思い出として心に残ることはもちろん、きつと菊の会の皆様にも沖永良部島での素晴らしい思い出として頂けました事、そして再び本町に菊の会の皆様を訪れてくれることを願ひ、併せて、この公演の開催にあたり、ご支援、ご協力くださいました関係各位に深く感謝申し上げます。



「おきえらぶ文化ホール あしびの郷・ちな」に於いて学校公演の記念撮影

世界延べ 58ヶ国 99 都市となった海外公演 韓国・ペルー・スリランカで開催



在スリランカ日本国大使 菅沼健一様御夫妻との記念撮影（スリランカ日本国大使公邸にて）

この度は、当館の事業として実施した「屋外日本文化体験展」と「文化アワード授賞式」にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。「菊の会」に出演していただいたおかげで、両イベントとも過去最高の盛り上がりを見せ、関係者から高い評価を得ております。「屋外日本文化体験展」では、あいにく天候には恵まれませんが、急遽クラブ・ハウスのロビーに設けられたスペースにおいて舞踊を披露していただき、さながら路上ライブのような感じで、大いに観客が湧きました。共催機関であるウォーターズ・エッジからは来年こそはリベンジで再来訪してもらえないかと既に打診を受けている次第です。



在スリランカ日本国大使館
広報文化班
一等書記官 高岡 正樹

スリランカ

「文化アワード授賞式」では、皆様の舞踊に観客が息をのむ様子が伝わり、ルパバヒニテレビ局で直後行われたレセプションにおいても当日夕刻に大使公邸で行われた公式レセプションにおいても、出席者から「文化アワード授賞式」に素晴らしい彩りを添えた「菊の会」の出演が話題になっていました。中略今後とも、スリランカを通じて或いはそれ以外の縁で「菊の会」の皆さまと関わりあいができる事を楽しみにしております。



駐大韓民国日本国特命全權大使
長嶺 安政様御夫妻との記念撮影

韓国

第十二回「日韓交流おまつり 2016 in Seoul」に菊の会にとつて五回目となる韓国の公演に出演致しました。当日は韓国側からはユン・ビョンセ外務大臣、チョ・ユンソン文化体育観光部長官等、多くのお客を前に菊の会が日本のおどりを披露し、地元マスコミにも大きく取り上げられ日韓交流に華を添えました。



（写真中央、ペルー日系人協会
国頭ホルヘ会長）

「第 44 回日本文化週間 日本のおどりフェスティバル」で踊るペルー支部の生徒さん達



ペルー

ペルーでの公演を機に日系人協会での舞踊指導を担当する事になって一年が過ぎ、三ヶ月に一度十日間のペースで続けて参りました。昨年十一月の「第四十四回日本文化週間・日本のおどりフェスティバル」に於いて現地の「ペルー日系人協会菊の会」の「郡上川崎」のメンバー十七名が晴れの舞台で「木曾節」「郡上川崎」「鹿児島おわら節」「花」を披露。熱心な練習の成果が現れ、客席からの大きな拍手を誘いました。

創立者 畑 道代を偲ぶ会を盛大に開催



畑代表による「月慈童」

昨年の夏、菊の会創立者畑道代の七回忌メモリアル公演が満員のお客様に包まれ、無事盛会裏に終了しました。ご案内役の葛西聖司氏が畑道代の足跡を紹介して、本公演の内容をユーモアを交えつつ楽しく解説。畑道代が残した作品を二部構成で並べ、師を偲びつつ、団員一同全力の舞台を務めました。当日のプログラムにはこれまでお世話になった芸能学会会長の三隅治雄先生や作曲家の坪能克裕先生をはじめ、「ご生前、畑道代先生のお人柄に触れ、多々学ぶことができたことを改めて感謝しております。」（宇宙飛行士・山崎直子）



「乙女竹」

「私は、広島を拠点に展開する平和活動の為、参加できませんが心は皆様と一緒にです。平和が守り育てるものこそ文化に他ならないからです」（公益財団法人広島平和文化センター理事長・小溝泰義）



第二部「海はるか日本を躍る」より

表します。」（駐日バーレーン王国特命全權大使 ハリール・ビン・イブラヒム・ハッサン博士）等、畑道代ゆかりの各方面の皆様からご挨拶を頂戴しました。



狂言舞踊「花冠者」

東日本大震災から五年、みちのく公演を開催

「心の復興支援」とのサブタイトルのもと、復興に向けて懸命に歩み続けていらっしゃる延べ三百名の皆様を、行政、各方面のご協力のもとお招きし、宮城県の仙台市と角田市で自主公演として初めての公演を開催致しました。

被災をされた方から『九十歳になるうちの母は震災で家族を亡くし、この五年間笑った事がなかったのですが、この公演に来て五年ぶりに笑顔



「菊花太鼓」

「この度は、原田小学校に来てくださり「日本の心を躍る」というテーマで、日本各地に残るたくさんの方の伝統芸能を見せていただき、誠にありがとうございます。皆さんは、原田小学校の六十六名の児童、十四名の職員、そして三十名余りの地域の人々に、多くの感動を与えてくださいました。

目を閉じるとあの日の演目の数々が、次々に脳裏を横切ります。公演後も、菊の会のことを話題にすると、本校児童はもろろんのこと、本校の職員も地域の皆様もあの日の感動を声を弾ませて語られます。

「菊の会の公演を見ることができて本当によかった。」

「夢のような時間を過ごすことができて幸せでした。」

「私も菊の会に入ってからあのような踊りを練習して、人々を感動させたい。」



原田小学校 校長 山之内 和英
鹿兒島県志布志市立原田小学校

文化庁「文化芸術による子供の育成事業」巡回公演



原田小学校代表の生徒さんと公演終了後の記念撮影

最後の一言は、当日急に來られた本田修一市長の発言でした。昨年、文化芸術による子ども育成事業に応募して、数多い希望校の中から本校が選ばれたこと。そして、菊の会の素晴らしい公演を原田小学校の子ども達に見ることができたのは、校長としてこの上ない喜びです。これからも厳しい練習を重ねてすばらしい舞踊を創り上げ、多くの人々に感動を与えてください。私達も皆様の活躍をずっと応援しております。また、どこかでお会いできることを願いながら、お礼の言葉に代えさせていただきます。

舞踊集団 菊の会 友の会へのお誘い

友の会は菊の会の活動をサポートする後援会です。

一般会員：一口 1 万円 (何口でも可)
法人会員：一口 5 万円 (何口でも可)

■ お問い合わせ：舞踊集団 菊の会 友の会事務局
〒161-0031 新宿区西落合 2-21-23
Tel 03-5983-6001

第35回 舞踊集団 菊の会 友の会懇親パーティー

〔日時〕 2017年 4月 23日(日)
12:00 開宴(受付開始11:00)
〔会場〕 ハイアットリージェンシー東京
センチュリールーム (地下1階)

舞踊集団 菊の会 事務局 〒161-0031 東京都新宿区西落合 2-21-23 Tel 03-5983-6001 / Fax 03-5983-6002

菊の会



<http://www.kikunokai.co.jp/>

